

生活支援コーディネーターだより

【第31号】令和6年7月1日発行

With ウイッス

中川（全市域）・金森（浜脇・西宮浜）・吉岡（安井・今津南）・廣末（上甲子園）・上野（深津・瓦木）・渡（甲東）・南（甲山・甲武）・角（小松・高須）・春（浜甲子園）・構（塩瀬・山口）

※（）内は地域包括支援センター圏域で表記

～私たちが私たちらしく暮らせる地域づくりを
みんなですすめようという意味を込めています～

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり推進課

〒662-0857 西宮市中前田町1-23 地域共生館ふれぼの内

☎(0798)61-1361 FAX (0798)61-1409 ☐kyoseimachi@n-shakyo.jp

生活支援コーディネーター 活動トピックス

ついにグランドオープン！

「みんなほくほく つどい場ばんぶー」

「みんなほくほく つどい場ばんぶー」は、コープこうべ・JA 兵庫六甲・西宮市社会福祉協議会の三者が協働して、山口町に新たにできたつどい場です。『ばんぶー』の名前には、昔から竹細工が盛んという地域の文化を大切にしていきたいという想いと、竹の地下茎のように地域に根付き、横のつながりを広げていけるようにという願いが込められています。“多様な人が出会い、つながり、協働できる地域に開かれた交流できる拠点”になることを目指しています。誰もが気軽に立ち寄れるつどい場を始めています。

場所：西宮市山口町上山口 1-5-1

日時：月・火・金 10:30～15:00

水 10:30～14:00

飲み物：1杯 100円



なるっこ食堂 鳴尾東地区



こんにちは！生活支援コーディネーター 1年目の角（かど）です。

今回は、鳴尾東地区にある子ども食堂『なるっこ食堂』さんをご紹介します♪

（写真左より『なるっこ食堂』の古結さん・小林さん・室屋さん）

生活支援コーディネーター訪問記 ええもんめっけ！



「なるっこ食堂」は、鳴尾東地区で2016年2月にスタートしました。これまで、労協センター事業団西宮事業所さんが運営されてきましたが、2024年4月より地域の方々が思いを引継ぎ、運営を継続されることになりました。

活動が始まったきっかけは、家庭内で「孤食」をしている子ども達や晩御飯を思うように食べることができない子ども達に同世代のみんなと一緒に楽しく晩御飯を食べてもらいたいという想いからでした。運営が地域の方々に変わりましたが、これまで活動をともにしてきたボランティアの皆さんも活動を継続されており、これまでと同様、温かみのある地域の子どもたちが集まる居場所になっています。今後も、労協センター事業団西宮事業所さんが築いてこられた地域のつながりと子ども達への想いが続いていきます。

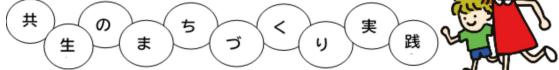


日時：毎月第2月曜日 自習室開放 16時～ ごはんタイム 17時～19時

場所：上田公会堂 子ども（高校生まで）無料 大人（保護者）1人 500円



市内 9 か所目となる共生型地域交流拠点が誕生しました



共生型地域交流拠点（浜脇地区）

結（ゆい）cafe

2023年12月、浜脇地区に「結 cafe」が誕生しました。結 cafe の日々の様子、拠点運営者の思いをお届けします。

場所: 西宮市浜脇町 6-2 サンロイヤル浜脇 103号

日時: 火・水・木・金 10時～16時(祝日開所)

電話番号: 090-4831-1303

飲み物: 一杯 150円・食べ物持ち込みOK

運営: スタッフ4名(結 cafe 運営委員会)

結 cafe の日常



結 cafe に入ると『こんにちは～』とスタッフの方が明るく声を掛けてくださいます。赤ちゃんからご高齢の方まで幅広い年齢層の方が来てくださっています。

地区社協や公民館での活動等、地域情報が集まってきています♪



緑のテント屋根が目印♪



地域の方が持ってきてくださった季節のお花で cafe も華やかに

食べ物持ち込みOKなので、お昼ご飯を持ってきて cafe で食べて帰る方もいます。また、居合わせた方同士でお菓子交換がはじまることもあります。「これどこの?」「〇〇へ旅行した時のお土産だよ」と、ひとつのお菓子がきっかけとなり会話が生まれることもあるそうです。一人でゆっくりしたり、誰かとおしゃべりしたり、皆さん自由に過ごしています。

イス体操 ~「やってみたい」「あったらいいな」の声をカタチに~

定例開催: 毎月第4金曜日 13時30分~

ジムでインストラクターをしている方がコーヒーを飲みに立ち寄り、「みんなが楽しめる活動をやってみたい」とのお話に。居合わせた参加者から「ぜひ体操、やってほしい!」との声掛けがあり、cafe で『イス体操』が始まりました。自己紹介ゲームも取り入れ、大変盛り上がります。体操が終った後も cafe に残ってお喋りを楽しんでおり、参加された方同士仲良くなる様子もあり、体操をきっかけに新たなつながりが生まれています。



【拠点運営者にインタビュー】

Q. 運営している中で大切にしている事や思いを教えてください

大切にしているのは、来てくださる方一人ひとりの思いです。一人でゆっくりしたい、ちょっとおしゃべりしたいなど、様々な思いにできるだけ寄り添いながら、誰もがほっとできる居場所として運営していきたいです。cafe の名前である“結”という言葉には、人と人がつながり合える場になるように、ここを拠点に色々な人が活動を広げていけるようにという願いを込めました。

結 cafe を地域の皆さんで有意義に活用いただけすると嬉しいです。

地域の様々な団体や思いをもっておられる方との協働を大切にしたいという考え方の基、“人と人がつながる地域づくり”を実践されています。これからどのような地域の輪がうまれるのか、とても楽しみですね。

「共生型地域交流拠点」は生活支援コ-ティネ-タ-が立ち上げや運営のサポートをしています。

